



善正寺だより

〒512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:0593-31-1670
☎:0593-32-0733

掲示板法話

もう嘆かない 心おきなく迷っていける もうおじけけない 心静かに迷っていける



先日、ふと立ち寄った大学付属病院の床屋さんで、散髪をしてもらいました。そのとき、隣の席でやはり散髪中のおじいさんと理髪師さんとの会話が聞こえてきました。

「奥さん、解剖を受けたの?」「うん、珍しい難病だったので、お医者さんからしきりに解剖させて欲しい。医学の発展のために協力して欲しいといわれてね……。しばらく間をおいて、おじいさんがぼつりとつぶやきました。

「これからわしの居場所を探さなければならんや」という、それは、それは、淋しそうな声でした。そのあと、二人の会話は途切れ、しばらく沈黙の間(とき)が流れました。

これまで老夫婦で生活してきたおじいさんなのでしょうが、連れ合いのおばあさんに先立たれ、一人暮らしが難しくなったのだと思われまます。身を寄せべき子供さんがいるのか、いないのかわかりません。しかし、年老いた身でひとりどどのように生活の場を見出していけばよいのか、悩みの深さが感じられ、

身につまされる思いが致しました。

一方、北海道に住む女性からいただいた手紙の中で尊い言葉を教えられました。「もう嘆かない、心おきなく迷っていける。もうおじけけない、心おきなく迷っていける」という力強い言葉です。

江戸時代末期、今の岩手県北上市で、慶念坊という僧侶が飢饉の中で間引き(墮胎)されようとした赤ちゃん、百人を引き取り、五十三人が育ったという感動悲話を教えていただきました。現地にはお墓や顕彰碑があり、今も供えられるお花が絶えないそうです。

その僧侶の生涯が一冊の本やCDになり、その中に発見された珠玉の言葉です。連続研修や中央教習を受け、娑婆の日暮しに悩み、迷いながらも歩いていける確かなる方向が定まっている方の素晴らしい心のプレゼントでした。

置かれた状況はそれぞれ違うことでしょうが、この世に生きている限り、我々に悩みや迷いの種は尽きません。でも「心おきなく迷っていける」と胸を張って歩いていけるのは、大きな安らぎで

あり、悩みは悩みのままで、もう既に救いの中にあるのです。
念仏は悩みをなくす道ではない、安心して悩んでいける道である、と教えられます。



☆4月17日(土)午後1時半、初参式(三全仏婦主催)の赤ちゃん十四名参加。ご家族も加わって賑やかな本堂、地域の仏教婦人会の祝福を受けて、健やかに育つことを願う。赤飯のおにぎりが全員に振舞われた。

☆行事ご案内☆

**5月30日(日)午前10時:「総会」(昼食準備)
午後1時「公開法座」**

(講師 本願寺派勸学 中西智海先生)

どなたでもご自由にお誘い合わせてお参り下さい。
2度と聞き逃せない貴重なご法話です

♪三重組コーラス♪

5/6(木)3回目合同練習、午後1時半・智積西勝寺様で、車に分乗して参加、1時小杉発

☆四日市文化会館特別練習6/8(火)午後1時半、6/26(土)夜7時舞台でリハーサル、予定4/25愛知県体育館お待ち受け、5/20三重組仏婦総会、6/27四日市文化会館三重組お待ち受け、7/7名古屋別院音楽祭 ※陽光苑慰問は5/11(火)

◇キッズサンガ

※5/1(土)午後4時 新しいお友達を誘ってどうぞ
※毎日夕方5時鐘撞きは誰でもOK 飴・ガム付。年中無休

◇6月14・15・16日 三重組仏教講習会(鎌田宗雲先生)

◇一縁会テレホン法話059・354・14543分間法話聞けます

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「つれづれ日記」が好評
4月22日開設1年9ヶ月目で2万アクセス達成!ご協力に感謝!

住職と坊守の2冊目共著本「虫の眼鳥の眼仏の眼」(千円)
好評発売中!同時に一縁会テレホン法話の本も発売中。



坊守スケッチ

自分から泳いでいる気のぼりのぼり

作家の井上ひさし氏が亡くなった。井上氏の座右の銘は「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいことをゆかいに、ゆかいなことをまじめに書く」ことだそう。

この座右の銘は、お寺の世界でも、学校の勉強にも、共通する点がある。お説教を聞いていて、難しい仏教用語が出てくると、たちまち頭の中が上空。仏教用語の解説をして頂いても、生活実感がないのでピンと来ない。

しかし分かり易い例え話ならば、「なるほど」と納得できる。「坊守がそんなことでどうする。恥ずかしくないのか」とお叱りを受けそうだが、正直な感想である。学校の先生でも、内容がしっかり理解できて、自分のものになっている先生ほど、難しいことでも分かり易く教えて頂ける。

先日友人から戴いた手紙に、川柳「自分から泳いでいる気のぼり」と書いてあった。誰の作か知らないが、私はこれを見た途端『他力の教え』を表現した上手い例えだと頷いた。「浄土真宗は他力の教えである」とお説教で聞いても、イメージするところがなかった。しかしこの川柳から、家々の軒先で気持ちよく泳ぐこいのぼりを眺めるたびに、『他力の教え』を思い浮かべることができた。こいの

ぼりは決して我が力で泳いでいるのではない。目に見えない風の中で、気持ちよく泳いでいるように見えるだけだ。私達の人生も、泳ぐこいのぼりと似ていてはないだろうか？

自分の力で、人生の荒波を泳ぎきっているように思うが、風が止まった途端、急にしぼんでポールに絡み付いているこいのぼりのように、しょぼくれた淋しい人生ではないだろうか？

それでは『風』とはどんなものがあるだろうか？強風もあれば穏やかな風もある。人生の挫折は台風時の強風、世間の叱責は寒風、親の愛情は暖かい春風、友情は心地よいそよ風、私達は様々な風のおかげで、強くもなり、温かく包まれるもする。

ところで詩人の吉野弘氏は『生命(いのち)は』という題で、中日新聞に次のような詩を書いている

「生命は／自分自身だけでは完結できないように／作られているらしい／花も／おしべとめしべが揃っているだけでは／不十分で／虫や風が訪れて／めしべとおしべを仲立ちする／生命はすべて／その中に欠如を抱き／それを他者から満たしてもらおうのだ／私は今日／どこかの花のため／虹(あぶ)だったかも知れない／そして明日は／誰かが私という花の



ための／虹であるかもしれない」このように私達のいのちは、沢山のいのちと絡み合い、目に見えないはたらきのおかげで生かされている。これが実感できるかどうかで、人生の歩き方が随分違い、力強く歩めると思う。

☆寄稿

四日市市 川崎孝一
☆虫食いの 網の白菜 巻き初めて
わっさわっさと 葉の立ち上がる
☆ジャンプして ハーフパイプに
舞うスノボ サーフィンかとも
スロービデオは

☆軍艦が 新幹線で 我が席に
海苔のパリパリ 鈍行よりも
四日市市 駅 弘蓮

☆いかなる 闇にも 必ず届く
光を信じ 歩み続ける
四日市市 H

☆主なき 土持ち上げて
ツクシ出る

☆薄墨の 桜二世や 二十年
キッズサンガ・杉の子合唱団

◇5月1日午後4時より。お友達誘って来てね！夕方5時の鐘撞きは毎日。

カンバ有難う☆
鈴木登代子様・澤田美智江様・花坂一恵様・飛鳥一様・他匿名様お志・切手有難うございました。

♪三重組コーラス♪

☆陽光苑5月11日(火) 39回目
《智積西勝寺様での合同練習》
※5月6日(木)午後1時半
小杉は午後1時に、車分乗して出発

《四日市文化会館で合同練習》

6月8日(火)午後1時半第3練習室
6月26日(土)夜7時直前リハーサル

《平成22年度前半コーラス行事》
☆4月25日(日)東海教区お持ち受け
法要・愛知県体育館・組曲正信偈

☆5月20日(木)午後、三重組仏婦総会(下海老明林寺)音楽法要

☆6月27日(日)三重組お持ち受け法要・四日市文化会館・音楽法要、「しんらんさま」念仏チケット千円発売中

☆7月7日(水)名古屋別院音楽祭
※7月31日(土)夜から小杉練習が
従来通り毎月最終土曜日夜あります。

☆ホットニュース☆
☆4月25日愛知県体育館で東海教区・岐阜教区合同の親鸞聖人七五〇回遠忌のためのお持ち受け法要が開催されました。コーラス65名、三重組からもバスが多数出ました。八代亜紀さんのトークと歌謡ショー。音楽法要厳修。

☆住職と坊守の2冊目の共著本『鳥の眼・虫の眼・仏の眼』(自照社刊)好評発売中！挿絵は門徒の服部雅之氏！

☆編集子より☆

「善正寺だより」第一九七号をお届けします。◇異常な気象、政治も混乱の極み。だが人生の時間を大切に、と思う。

五月五日の子供の日です。政府は子供手当を支給して子育てし易い環境作りをしています。昔はお金が無くては、子供は山であつても遅く育つた時代がありました。家族全員が地域の人々が協力し合つて子育てを応援したからです。アメリカで永住権を取得した教子夫婦が来日して「向うでは子育てが大変、病気になつてわすか半日の入院でも数十万円請求された。お産にも20万円かかると嘆いていました。日本はありがたい国なのです。それに気付かず感謝もせず、当たり前前のように使つていたら申し訳ない氣がします。先日調べものをしていたら「つもり違い十か条」作者不詳という言葉に出会いました。「高いつもりで低いのが教養、低いつもりで高いのが気位、深いつもりで浅いのが知識、浅いつもりで深いのが欲、厚いつもりで薄いのは人情、薄いつもりで厚いのは面皮、強いつもりで弱いのは根性、弱いつもりで強いのは我、多いつもりで少ないのは分別、少ないつもりで多いのは無駄」という対句表現で人間の弱さ、本性を言い当てた十か条です。そこで私も一句「分かつているつもりで分らないのが自分の心、分らないつもりで分かつているのが他人の噂」仏法という鏡に映し出さなければ自分の心は見えてきません。そのためは聴聞を重ね、よき法友に出会いましょう。五月の予定として三十日(日)午前総会、午後公開法座「(本願寺勸学中西智海先生)をお迎えします。二度を聞き逃さない貴重な法座、お誘い合わせてお参り下さいませ。

合掌

平成二十二年五月

善正寺坊守輝